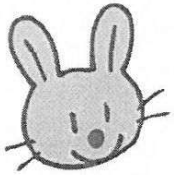


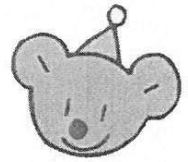
資料 3

参考資料



カナダ生まれの「子育て支援プログラム」Nobody's Perfect

～完璧な親なんていない～



みんなで話し合いながら、自分にあった子育ての仕方を学ぶ講座です。
ひとりで悩まず、ママ同士の交流を楽しみながら、子どもからほんの少し離れて、自分や子育てについて、ゆったりと見つめ直すひと時を過ごしてみませんか？

♡日程(全6回)

日にち	時間	内容
平成28年9月29日(木)	午前10時～正午	☆はじめまして(自己紹介) ☆話し合いのルールづくり ☆みんなで話し合うテーマを決めます 例えば… しつけ・食事のこと・夜泣き トイレトレーニング・発達 自分の時間を作るには… ストレス解消法 などなど ♡ファシリテーターという 進行役がお手伝いします
10月6日(木)		
10月13日(木)		
10月20日(木)		
10月27日(木)		
11月4日(金)		



♡会場 白根学習館

参加者の感想

受講後、気持ちが穏やかになり、ゆとりを持って子どもに接することができるようになりました。

♡参加費 無料(お茶・おやつ代として1回につき100円いただきます)

♡対象 0歳から5歳までのお子さんを育てているお母さん

※ 原則未受講で、全回出席できる方

お茶を飲みながら育児トークができて、楽しいよ!

♡定員 12名(申し込み多数の場合は抽選で決定いたします)

♡保育定員 14名(生後8か月以上)

※ プログラムはママのみの参加です。
ご希望により保育をご利用いただけます。

♡申込期間 平成28年8月22日(月)～9月15日(木)

※ 電話でお申し込みください。

♡申し込み・問い合わせ先

南区役所 健康福祉課 児童福祉係

☎025-372-6371(直通)



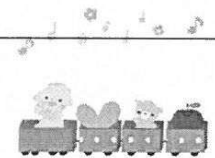
参加しませんか

親子の絆づくりプログラム

.....🌱 赤ちゃんがきた! 🌱.....

子育てを、ひとりで頑張りすぎていませんか。このプログラムは、参加者中心型の連続講座で、「参加者どうしをつなぐこと」と「少し先を見通した知識の提供」を目的とし、参加したお母さんどうしが話し合いながら、子育ての知識を学び、親子の絆を深めたり、子育て仲間をつくるプログラムです。みなさんの参加をお待ちしています。

受付開始日	【時間】 13:30~15:30 【会場】 ① 白根健康福祉センター（検診・問診室） ② 白根南児童館	対象	会場
7/4	8月2・9・16・23日（火）	平成28年3~5月生まれの赤ちゃん（第一子）	①
9/5	9月27日・10月4・11・18日（火）	平成28年4~7月生まれの赤ちゃん（第一子）	①
10/3	11月5・12・19・26日（土）	平成28年6~8月生まれの赤ちゃん（第一子）	①
11/7	11月29日・12月6・13・20日（火）	平成28年7~9月生まれの赤ちゃん（第一子）	①
12/5	1月17・24・31日・2月7日（火）	平成28年8~10月生まれの赤ちゃん（第一子）	②
1/16	2月21・28日・3月7・14日（火）	平成28年9~12月生まれの赤ちゃん（第一子）	①

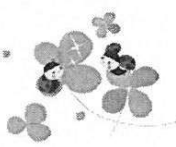


各4回連続講座 内容	
第1回	新しい出会い
第2回	赤ちゃんのいる生活
第3回	赤ちゃんとの接し方
第4回	親になること

認定ファシリテーター（進行役）が話を進めます

・対象/2~5か月の赤ちゃん（第一子）と母親。
なるべく全日程参加でき、以前にこの講座を受けていない方 先着20組

・参加費/無料



<お申込み>

専用ダイヤル

TEL 025-248-5770 (平日:午前8:30~午後5:30)

<お問い合わせ>

南区健康福祉課 児童福祉係

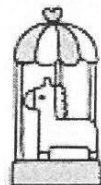
TEL 025-372-6351 (平日:午前8:30~午後5:30)

『子育てオーエンジャー☆みなみ』とは

子育て中の保護者が気軽に参加できる「子育て広場」を身近な地域で自主的に開設し、育児不安の軽減を図ることを目的とした子育て支援リーダーの愛称です。

◆ 事業実施主体 ◆

南区役所健康福祉課



◆ 育成方法 ◆

平成24年度から特色ある区づくり予算「地域で子育て」を応援により、新潟県立大学人間生活学部子ども学科 准教授 小池 由佳氏を講師として子育て支援リーダーを育成しました。

◆ 研修・活動内容 ◆

【平成24年度】

- 子育て支援リーダーの育成およびグループで地域活動ができるよう講習会を開催
- 全6回のリーダー育成講習会（講師：小池由佳准教授）により、14名のリーダーを育成

【平成25年度】

- 平成24年度に育成した子育て支援リーダーのスキルアップ研修を実施（講師：同上）
- 「子育て広場」を9回開催

【平成26年度】

- 「子育て広場」を20回開催

【平成27年度】

- 「子育て広場」を26回開催
- 親子でアグリパーティー「いっしょにおひるごはん食べよう！」を開催
- アウトリーチ型子育て支援（子育て情報のお届け訪問）に向け、研修会を実施

【平成 28 年度】

- 「子育て広場」を 1 月 19 日現在で 20 回開催し、延べ参加人数は 495 人です。
- 参加者から好評をいただいた「いっしょにおひるごはん食べよう！」を発展させ、「いっしょにおひるごはん作ろう！」を開催しました。
- 「子育て情報のお届け訪問」のモデル実施を始めました。

【平成 29 年度】（予定）

- 「子育て広場」「いっしょにおひるごはん作ろう！」を継続します。
- 「子育て情報のお届け訪問」のモデル実施で見えてきた課題・改善点を洗い出し、本格実施していきます。

◆ 子育てオーエンジャー☆みなみが目指すもの ◆

子育て中の保護者が地域とつながりを持って、子育てしてほしいです。

さまざまなノウハウを持っている“おばちゃん”の力をお貸ししてほしいです。

◆ 子育て広場開催状況 ◆

開催年度	開催回数	参加者数
平成 25 年度	9 回	203 人
平成 26 年度	20 回	495 人
平成 27 年度	26 回	716 人
平成 28 年度 (H29.1.19 現在)	20 回	495 人



新潟・「ンチャー☆みなみ」は13日、味方の味方健康センターで、子育て中の母親が調理や食事を楽しむイベントを開いた。写真

昨年続き2回目、今回は調理実習も加えた。区内外の母親11人が子どもを連れて参加。講師役の地元の主婦らに教わりながら、ハッシュドビーフと野菜スープを作った。その後、子どもや「みなみ」のメンバーも交えて料理を味わい、子育てや発育状況などについて話し合った。

6カ月の息子と一緒に参加した西区のウエブデザイナー、米田伶さん(30)は「ママ同士でしゃべりながら料理を作ることができ、気分転換になった」と笑顔を見せた。

地区社会福祉協議会行事

○新飯田地区

事業名：「おじいちゃん、おばあちゃんと子どもたちが遊ぶ集い」

開催日：平成 28 年 6 月 26 日（日）

参加者：120 名



○小林地区

事業名：「第 15 回 小林ふれあい昼食会」

開催日：平成 28 年 11 月 20 日（日）

参加者：43 名



○大通地区

事業名：「第 11 回大通ふれあい昼食会」

開催日：平成 28 年 5 月 22 日（日）

参加者：59 名



関係者各位

南区保健医療福祉のつながりを深める会
代表 吉沢 浩志
南区社会福祉協議会
新潟市在宅医療・介護連携ステーション南

南区保健医療福祉のつながりを深める学習会 Part5のご案内

第12回 在宅医療推進のための多職種連携研修会

初春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

過去11回の学習会では、大勢の方々に参加いただき、とても有意義な学習会となりましたことを御礼申し上げます。

さて、当会第12回目の学習会ですが、医療・保健・介護・児童・障がい・行政など様々な専門職がお互いの役割を理解し、チームアプローチを展開しやすくすることで、誰もが住み慣れた南区で生活を継続できる『地域包括ケアの充実』を目的に、下記のとおり計画致しましたので、御案内させていただきます。尚、今回も学習会終了後に懇親の場を設けさせていただきました。更なるネットワーク構築の場として活用していただけると幸いです。

業務ご多忙の折と存じますが、大勢のご参加をお待ち致しております。

記

1. 日 時 平成28年9月03日(土曜) 13:30～17:00
(会場受付 13:00～)
2. 会 場 サルナート吉運堂 5階「万葉の間」
3. 内 容 <基調講演> 13:40～14:00
「地域包括ケアシステムの植木鉢」それぞれの機能と予防について考える
講師 新潟県医師会 副会長 吉沢浩志先生
<実践報告> 14:05～14:45
① 訪問看護ステーション 看護師 畠中昌美さん
② 新潟市運動普及推進委員 西野伸治さん
③ 認知症専門デイサービス 相談員 磯部洋介さん
<情報提供> 14:45～15:00
痩せすぎは健康寿命の危険信号 「食べること」で出来る介護予防
<グループワーク> 15:10～
① 福祉のつながりを深める会実践の歴史(報告)
② 在宅医療・介護連携センターステーションについて(報告)
「住み慣れた南区で生活を継続するために、健康寿命を延ばそう」
～南区で地域包括ケアを充実させていくために予防が大切～
4. 申 込 み 裏面にて8月24日(木曜)までにお申し込み下さい
5. 定 員 会場の関係で、100名になり次第締め切らせていただきます。
参加できない方には連絡させていただきますので、ご了承ください。
6. そ の 他 学習会は参加費無料ですが、会終了後に予定しております懇親会に参加希望の方は、会費4,500円をご持参下さい。
7. 後 援 新潟市(予定)新潟県医師会(予定)新潟市医師会(予定)

【問い合わせ先】事務局

新潟白根総合病院 地域連携支援室

「プロフェッショナル仕事の流儀」
NHK
出演

中村伸一先生講演会

地域に“寄りそ医”20年

「地域住民と診療所医師の強くて温かい絆の物語」から在宅療養を考える

団塊の世代が後期高齢者に突入するとどうなるのか。地域包括ケア、在宅療養（在宅医療）について学びます。私はどう生きぬくのか、人生の最終段階をどう迎えるのか、自分と家族が納得できる看取りとは…。すべては、もう動き始めています。



参加費
無料

■ 講師紹介

福井県おおい町名田庄診療所所長、2009年1月NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で地域医療のスペシャリストとして紹介された医師。家族に看取られて家で死にたい」という住民の切なる願いをかなえるために村を地域医療の理想郷にしようと奔走する姿はNHKプレミアムドラマ「ドクター」としてドラマ化された。国保診療施設協議会理事、自治医科大学臨床教授を歴任。著書として「寄りそ医—支えあう住民と医師の物語—」メディアファクトリー出版

日時

平成29年2月5日(日) 午後1時～4時(12時30分開場)

会場

白根学習館ラスペックホール

申込先

TEL025-243-4894 市役所コールセンターへ電話申し込み 先着500名
氏名 住所 電話番号 一般または医療福祉等の専門職の別
代表者による一括申し込みの場合は氏名は全員分お伺いします。

〆切り

平成29年1月29日(日)

座長「地域包括ケアについて」吉沢医院院長 吉沢 浩志 氏
講師 福井県おおい町名田庄診療所所長 中村 伸一 氏
報告「南区の在宅医療の体制について」田辺医院院長 田辺 肇 氏

主催：南区保健医療福祉のつながりを深める会 南部地区地域医療連絡会 在宅医療・介護連携ステーション南
南区社会福祉協議会 新潟市南区役所

後援：新潟県医師会 新潟市医師会 新潟県歯科医師会 新潟白根総合病院 白根緑ヶ丘病院 白根大通病院

問合せ先：新潟市南区役所健康福祉課健康増進係 TEL 025-372-6375 FAX 025-372-4033

認知症不明者 どう対応

南区茨曾根 住民ら搜索訓練



認知症の高齢者の行方不明を想定して行われた搜索訓練＝15日、新潟市南区茨曾根

認知症の高齢者の行方不明を想定した搜索訓練が15日、新潟市南区の茨曾根地区で行われた。住民や南区社会福祉協議会、警察などがいざという時に備え、通報や手配の流れ、発見時の声掛けの方法といった対応を確認した。

訓練は認知症の高齢者への理解や関心を高めようと、区社協と地域包括支援センターしろね南が初めて企画。茨曾根地区の自治会やグループホーム「さくらの里」、区、新潟南署も参加した。

新潟南署は、区内の約50

機関・団体に対して認知症などの行方不明者の情報を提供する「はいかいシルバースOSネットワーク」で昨年、10件の協力を呼び掛けた。

訓練では、高齢者役が行方不明になり、茨曾根地区内を徘徊。OSネットワークなどで情報を受け取った地区

「笹川邸」学び ガイド挑戦を

来月11日から講座

新潟市は、国重要文化財「笹川邸」(同市南区)を案内するボランティアガイド養成講座の参加者を募集している。

講座は11月11、18、25、12月2、9日の5回、笹川邸や隣の曾我・平沢記念館で開く。現在のボランティアガイドが、江戸時代の大庄屋の旧屋敷である笹川邸の歴史や建物などについて、基本的な知識を教える。最終回は実習も行う。

各回とも午後1時半～3時半。参加無料。ガイドとして活動できる人が対象で、定員10人。先着順で30日まで受け付ける。申し込

住民らが発見して声を掛け、警察に通報するまでを模擬体験した。不明者役の男性を見つけた南区茨曾根の関根定一さん(76)は「正面から優しく声を掛けるように気を付けた。実際に起きた時に実践するには、一度体験しておくことが大切だと思つ」と話した。

み、問い合わせは曾我・平沢記念館、025(373)6600。

川の幸と歌満載 30日「秋まつり」

東 区

新潟市大形地区漁協と阿賀野川漁協連合会は30日午前9時から、新潟市東区津島屋の東新潟勤労者体育館で「集まろう、ふれあい・秋まつり」を開く。

地元産のシジミなどを販売する。カラオケ大会や住民グループによるフラダンスショーのほか、村上市出身の演歌歌手、朝日奈ゆうさんが歌謡ショーを行う。

午後2時まで。問い合わせは阿賀野川漁協連合会、0254(99)5105。

※南区健康福祉課長が認知症の高齢者役に扮し模擬訓練に参加した。
(手には片方のスリッパと傘を持っています)

南区家族介護教室 のご案内

日時： 平成 29年 7月 21日（金）
午前 10:00 ～ 12:00

内容： 「在宅介護者の為の認知症学習会」パート2

講師 認知症介護指導者 **新野 直紀 様**
(胎内市ちゅーりっぷ苑 副苑長)

「足の爪、短く切りすぎていませんか？」

～足指で体の調子が変わります～

講師 フットヘルパー認定校講師 **田辺 美枝子 様**
(サービス付き高齢者住宅 オーダリー 管理者)

***当日の実演は、裸足で行います。**

●フットケアとは？

足は第2の心臓です。フットケアは高齢者の健康を保つために欠かせないツールです！

会場： 小規模多機能型居宅介護 **いきいき味方** (南区味方89番地3)

定員： 30名 お申込みは7月20日(木)までに、お電話にてご連絡下さい。

※ 無料送迎バスのご利用について

乗車場所 : 白根やすらぎの里(8:50)⇒臼井地域生活センター(9:05)⇒しなの園(9:25)⇒会場

降車場所 : 会場⇒しなの園(12:20)⇒臼井地域生活センター(12:35)⇒白根やすらぎの里(12:50)

◎ 味方・月潟地域の送迎に関しましては、電話にてご連絡頂き個別に対応可能です。お気軽に下記までご連絡下さい。

社会福祉法人 新潟南福祉会 小規模多機能型居宅介護事業所 **いきいき味方**

TEL 025-373-2466 担当 **田村・弦巻**

* お近くの地域包括支援センター・担当居宅介護支援専門員からもお申込みできます。



糖尿病 高血圧の診療費 8区でトップ

健康づくりに関心を

集団健診を復活／体重測定で特典

南区

新潟市南区は、区民の健康寿命を延ばしたり生活習慣の改善を図ったりする取り組みを入れている。糖尿病や高血圧の診療費は市内トップクラスであり、ミニドック型の集団健診を区内で始めるほか、1カ月の体重を記録するよう促すキャンペーンも実施中だ。区は「取り組みに参加し、健康への関心を高めてほしい」とアピールしている。



健康の大切さをアピールするTシャツで業務に当たる南区職員＝新潟市南区白根

退職者や農家などが加入する市国民健康保険(国保)の2014年度医療費で、南区は糖尿病、高血圧、脳梗塞の1人当たり診療費が8区中一番高い。一方、メタボリック症候群を調べる特定健康診査(特定健診)の受診率は、市平均を下回る31・4%にとどまる。ミニドック型集団健診の特定健診は南区に住民票があり、市国保に加入する40〜74歳が対象。特定健診のほか、がんやヒロリ困などの検査も追加負担すれば受診できる。19日の月湯健康センターを皮切りに11月まで、区内5カ所で6回開催

する。南区では白根、味方、月湯の旧3市村時代に旧制度の基本健康診査を集団で行っていたが、合併により医療機関で個別に受診する健診に変わった。しかし区内に医療機関が少なく、なじみのある集団健診の復活を望む声が出ていた。コミュニティ協議会と協力し、近頃は年2800人程度にとどまっていた特定健診受診者数を、4千人まで増やす目標を掲げる。4月からは「はかろう体重!大作戦」と題したキャンペーンも行っている。1カ月の体重を毎日記録し、達成した人に区内の観光農園の割引券などをプレゼントする。区健康福祉課は「日常生活を見つめ直す機会にしてほしい」と話す。区は取り組みをPRするTシャツを作製し、健康福祉課などの職員約70人が身に付けて業務に当たっている。同課は「健康を失いかけた時に気付いては遅い。家族や自分の健康に関心を持ってほしい」と呼びかけている。問い合わせは同課、025(372)6385。

回覧

みんなで参加しましょう!



元気アップ講座のご案内

「 3 B 体 操 」

(社)日本3B体操協会 公認指導者

講師： 笠原 住子 氏

日 時 7月7日 (木)
午後7時～8時30分

会 場 白根健康福祉センター 3階 多目的ホール

参加費 無料

持ち物 運動靴, 汗拭きタオル, 飲み物(水分摂取用)
※動きやすい服装でお越しください。

3B体操とは…??

赤ちゃんからお年寄りまで、みんなで楽しめる体操です。ボール、ベル、ベルターという3つの手具を使い、音楽に合わせて楽しく身体を動かします。

☆お問い合わせ 町部第二地区保健会 保健推進員まで☆



認知症について一緒に考えてみませんか？

認知症は、誰にでもなる可能性のある病気です。わが国の認知症高齢者の数は、2025(平成37)年には約700万人、65歳以上の高齢者の約5人に1人に達することが見込まれています。新潟市では、認知症について正しく理解し、認知症の人やご家族を見守り支援していくまちづくりに取り組んでいます。

みなさんで、認知症に関する知識を高め、「認知症」という病気にかかってしまった方と、その家族が安心して暮らしていける地域づくりを考えてみませんか。

●認知症サポーターとは

認知症サポーターとは、特別なことをするひとではありません。認知症について正しく理解し、認知症の人やご家族を温かく見守り自分のできる範囲で活動します。

友人や家族に学んだ知識を伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解するように努めるというのもサポーターの活動のひとつです。

認知症サポーター養成講座を受講すると、認知症サポーターになった証であるオレンジリングをお渡しします。

●ロバ隊長ステッカー・ぬいぐるみ交付について

認知症サポーター講座を受講していただいた地域の団体や企業を対象に、認知症サポーターの存在をお知らせするロバ隊長ステッカー・ぬいぐるみを交付します。

交付手続きについては、新潟市ホームページ(検索:認知症サポーターになりませんか)をご覧ください。交付申請書の提出先は各区健康福祉課高齢介護係です。



認知症ってなに？認知症は治るの？
なぜ認知症になるの？など認知症について学んでみませんか。

●認知症サポーター養成講座

対象者：地域住民・職域・学校・広域団体・企業等の従事者

講師：キャラバン・メイト（新潟市の研修を受講した講師）

内容：認知症の症状や具体的な接し方 等

時間：60分から90分程度

教材：認知症サポーター養成講座標準教材・オレンジリング

「認知症を学び地域で支えよう」

受講料：無料

申込：10名以上の団体で各区健康福祉課高齢介護係へ問い合わせ

お友達、お仲間等集まりましたらお気軽にご連絡ください。



認知症サポーター養成講座 基本カリキュラム

基本となる内容	標準時間
● 認知症サポーターキャラバンとは	15分
● 認知症を理解する (1) 1 認知症とはどういうものか 2 認知症の症状 3 中核症状 症状1 記憶障害 症状2 見当識障害 症状3 理解・判断力の障害 症状4 実行機能障害 症状5 感情表現の変化 4 周辺症状とその支援 元気がなくなり、引っ込み思案になることがある 身のまわりのことに支障が起こってくる 周辺の人が疲弊する精神症状 行動障害への理解	30分
● 認知症を理解する (2) 5 認知症の診断・治療 早期診断、早期治療が大事なわけ 認知症の治療 認知症の経過と専門家との関係 成年後見制度・地域福祉権利擁護事業 6 認知症の予防についての考え方 7 認知症の人と接するときの心構え 8 認知症介護をしている人の気持ちを理解する	30分
● 認知症サポーターとは ● 認知症サポーターのできること	15分

※基本の内容を押さえた上で、適宜、構成・調整する（60分～90分）

【講座開催連絡先・書類提出先】

北区健康福祉課	025-387-1325	江南区健康福祉課	025-382-4383
東区健康福祉課	025-250-2320	秋葉区健康福祉課	0250-25-5679
中央区健康福祉課	025-223-7221	南区健康福祉課	025-372-6320
西区健康福祉課	025-264-7330	西蒲区健康福祉課	0256-72-8362

ボランティア活動紹介

平成 28 年度も様々なボランティアにご協力をお願いしました。一部ご紹介いたします。



南区あやめの会 イベント補助



個人ボランティア 二胡演奏



吉江サロン 流しそうめん



白根健康サークル レクダンス



月湯おはなしの会 昔語り



たんぽぽ オカリナ演奏



まだまだ、たくさんの登録ボランティアの皆さんにご協力していただきました。ありがとうございました。29 年度もよろしくお願いいたします。

ボランティア募集

高齢者施設

- お話相手・芸能披露・イベント補助
- 余暇支援（将棋）など

障がい者施設

- 作業補助・イベント補助・授産品の作成補助など

その他

- イベント補助・きぐるみに入る・募金活動
- グッズ作成・お茶の間ボランティア

南区ボランティア・市民活動センターでは、平成 29 年度のボランティア登録受付中です。ボランティア登録すると様々な研修会、交流会等のご案内をはじめ、ボランティア活動の場の提供等もご相談に応じます。ぜひ一度、南区ボランティア・市民活動センターにご相談ください。

お問い合わせ 南区社会福祉協議会
南区ボランティア・市民活動センター（担当 田村）
TEL(025)373-3223 FAX(025)373-6125



平成29年度講座予定

ボランティアきっかけ作り講座

傾聴講座

大人向け福祉教育

サマーチャレンジボランティア

学生対象

ボランティア研修会

登録ボランティア研修会対象

中学生ボランティア交流会

ボランティア・サロン・お茶の間交流会 など

日程は区だより、社協だより、ホームページ、チラシ等でお知らせします。

南区ボランティア・市民活動センター だより NO 2

平成29年3月発行

平成 28 年度南区ボランティア・市民活動センターでは、たくさんの方々と繋がり事業を行って参りました。平成 28 年度の主な事業についてご報告いたします。今後も、区民の皆様のボランティア活動、市民活動を支援しながらたくさんの方と繋がっていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

ボランティアきっかけ作り講座

白根地区公民館共催



～みんな聴き上手！

心に栄養を与えましょう～

傾聴講座

開催日 平成 28 年 7 月 22 日（金）

平成 28 年 7 月 29 日（金）

13：30～16：00

講師 NPO法人こころネットワーク 遠藤道子様



参加者感想

- 相手を受け入れる傾聴法について知識を深めることができました。
- 人の話を聴くのも受け止めるのも NO と言えるのも、まず自分自身をしっかり持つことが大事だと感じました。
- ボランティア活動をするうえでスキルアップになったと思います。色々な人との出会いもあり有意義でした。

29 年度も傾聴講座を開催します。皆さん是非ご参加ください！



おもちゃドクター養成講座

～おもちゃ病院見学会とおもちゃDr 講座～

日時 平成 28 年 7 月 31 日（日）10：00～16：00

会場 白根学習館

講師 おもちゃ病院にいがた 大沢博雄様

参加者感想

- 奥の深い世界で大変楽しかったです。
- みんなでやって楽しかったです



南区おもちゃ病院開院
毎月第5日曜日 白根学習館
10時～12時
興味のある方は是非お越しください

南区ボランティア・サロン交流会 平成 28 年 12 月 8 日 (金)

サルナート吉運堂

南区ボランティア・市民活動センターに登録している団体、個人ボランティアを対象に開催。グループワーク、ワークショップ、ボランティア発表などの内容で楽しく一日過ごしました。



グループワーク
「ボランティア、サロン活動の内容や悩み」を共有



劇団「あかつき」大西暁美さんワークショップ
「楽しく笑って過ごしましょう。違う自分の発見！」

参加者感想

- ・他のボランティアさんとお話ができてよかった
- ・意見交換ができて大変勉強になった。
- ・皆さんが一生懸命で自分も元気が出た。
- ・大変楽しかった。

ボランティア活動発表



フラダンス ホヌホヌ



唱歌 メルシー

災害ボランティアセンター設置訓練 (一社)白根青年会議所共催

日時 平成 28 年 11 月 6 日 (日) 8:30~16:00 講師 にいがた災害ボランティアネットワーク
会場 午前 白根高等学校 (南区一斉防災訓練避難所訓練会場) 野村卓也様・野村祐太様
午後 南区社会福祉協議会

災害時に備え災害ボランティアセンターの設置に向けて南区社協では、災害ボランティアセンター検討委員会を毎月開催しています。その一環として災害ボランティアセンター設置訓練を開催しました。当日は南区一斉防災訓練日のため白根高校生、白根コミ協、地域の皆さんにもボランティア体験をしてもらいました。



福祉教育

小学校・中学校



視覚障がい者の日常を聴く。交流をする



アイマスクをしてペットボトルを開ける



小学校 新飯田・茨管根・大通・
小林・月湯・味方
中学校 白根北・月湯
8校が実施しました。



車いすで玄関段差を下る



ブラインドサッカー体験



認知症サポーター養成講座



ヘッドフォン・ゴーグルを付けて新聞を読む

大人向け



南区地域教育コーディネーター
ブラインドサッカー体験



白根ローターアクト車いす体験

大人のための福祉教育の一環としてブラインドサッカーと車いす体験を行いました

車椅子、アイマスク、高齢者体験、福祉に関する講話、認知症サポーター養成講座・ブラインドサッカーなどを通して高齢者や障がいを持つ人の気持ちを理解し、自分たちのできることを考えます。また、当事者の方の日常生活を直接聞くことで異なる立場も認め合い理解することで、命の大切さ思いやりの心を育みます。

南区中学生ボランティア交流会

平成 27 年 12 月 25 日 (金)

白根学習館
NPO法人ふるさと未来創造堂 中野正嗣 様

災害時に「中学生に何ができるか？」をテーマに避難所運営ゲーム「HUG」(ハグ)を行いました。車いす、高齢者体験などの要配慮者体験を通じて自分たちに何ができるか大人と一緒に考えました



赤い羽根共同募金

赤い羽根の募金活動は、まちの優しい気持ちを集める活動です。



地域の福祉、みんなで参加

赤い羽根共同募金運動が10月1日から12月31日の3ヶ月間（地域歳末たすけあい募金運動は12月1日から12月31日の1ヶ月間）実施されます。

身近な地域の困りごとを解決するための活動や福祉施設における車両整備、施設改修、さらには、大規模な災害が起こった際の災害ボランティア活動支援等にも役立てられます。

南区の地域の福祉事業、及び県内の福祉事業を推進する様々な活動に役立てられています。今年もご協力よろしくお願いいたします。

各世帯にご協力をお願いする戸別募金では、各自治会長・町内会長さんを通じて、共同募金は1世帯あたり500円程度、歳末たすけあい募金は1世帯あたり300円程度のご協力をお願いいたします。（あくまでも任意の募金ですので、目安としてお考えいただければ幸いです）

新潟県目標額 **458,345,000円** 新潟市(赤い羽根・歳末たすけあい) ・28年度目標額 114,768,000円 ・南区目標額 9,634,000円

共同募金の使い道

○地域福祉活動のために

- ・地区社会福祉協議会が行う世代交流会等の地域福祉事業
- ・安心箱配布等の地域見守り事業
- ・ふれあい子育てサロンの支援
- ・ボランティアきっかけ作り講座等の育成事業
- ・災害ボランティアセンター運営事業
- ・南区社会福祉協議会が行う男性の料理教室等



●新潟県全体のために

- ・県単位の社会福祉事業団体や社会福祉施設、障がい者小規模作業施設
- ・福祉活動車両の配置
- ・災害等準備積立金
- ・緊急災害配分金



皆さまのあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

詳しくは・・・
 (中央共同募金会) <http://www.akaihane.or.jp>
 (新潟県共同募金会) <http://www.h7.dion.ne.jp/~ni-kyobo>

○歳末たすけあい事業のために

- ・一人暮らし高齢者世帯への「おせち料理」宅配事業
- ・地区社会福祉協議会が行う歳末慰問等の地域福祉事業
- ・南区社会福祉協議会が行う民生委員による歳末の地域見守り事業等

社会福祉法人 新潟県共同募金会
 新潟市共同募金委員会南区分会 (南区社会福祉協議会内)
 〒950-1214 新潟市南区上下諏訪木817番地1
 TEL.025-373-3223 FAX.025-373-6125

このような活動にも使われています。

●緊急情報キット配付事業

高齢者や健康上不安を抱えている方に対し、「緊急時の連絡先」「かかりつけ医」「持病」などの医療情報を専用容器「緊急情報キット」に入れ、自宅の冷蔵庫に保管し、緊急時及び災害時に備えるものです。



配付対象者は

- ・満70歳以上の世帯(年度末到達年齢)
- ・満70歳以上(年度末到達年齢)と児童のみの世帯
- ・重度身体障がい者(身体障がい者手帳における障害等級1・2級)
- ・重度知的障がい者(療育手帳における障害程度A)

共同募金税制について

共同募金への寄付には、税制上の優遇措置があります。

【個人の寄付】

- 所得税に係る寄付金控除額
寄付金額(年間所得の40%を限度とする額)-2千円
- 住民税に係る寄付金税控除額
[寄付金額(年額所得の30%を限度とする額)-2千円]×10%
※新潟県共同募金会は税額控除団体です。

【法人の寄付】

会社などの法人の寄付は全額損金算入できます。

南区内地域のふれあいきいきサロン・子育てサロン一覧

地区名	サロン名	会場	開催日時
大通地区	ふれあいきいきサロン	大通1丁目こここサロン	大通一丁目集会場 第3土曜日 10:00~12:00
		大通健友会	大通二丁目公民館 毎月第3土曜日 13:00~15:30
		大通西いきいきサロン	大通西自治会館 木曜日(月1~2回) 10:00~11:30
		ごきんじょネット	大通地域生活センター 第2・4水曜日 10:00~11:30
	子育てサロン	おしゃべりサロン	大通地域生活センター 大通地区の子育て中の母親の交流を目的に年6回奇数月開催
鷺巻地区	ふれあいきいきサロン	下鷺ノ木お茶の間	下鷺ノ木・桜町集会所 毎月15日 13:30~16:00
味方地区	ふれあいきいきサロン	味方8ふれあのお茶の間	味方8番組生活改善センター 第1または第2金曜日 9:30~11:30
		リハビリ友の会	味方健康センター 月曜日(月1回) 9:30~11:30
		味方生き生きの会	味方健康センター 月曜日(月1回) 9:30~11:30
		千日生き生きの会	千日運動施設 金曜日(月1回) 9:00~11:30
		吉江生き生きの会	吉江集落センター 第1金曜日 13:30~15:30
		希望の会	七穂公民館 第2水曜日 9:30~11:30
		いきいきついたちの会	味方5番組集落開発センター 毎月1日 9:30~11:30
	福寿会	大倉集落開発センター 第3土曜又は日曜日多世代交流も開催 土/10:00~日/13:30~	
子育てサロン	りとるくらぶ	味方健康センター 第2月曜日 9:30~11:30	
大郷地区	ふれあいきいきサロン	郷の会	下大郷開発センター 第2木曜日 13:30~15:30
白根地区	ふれあいきいきサロン	ことぶき茶の間	四ツ興野自治会館 第1土曜日 9:30~11:30
		能登・栄町お茶の間	白根健康福祉センター 不定期(月1回)(多世代交流も開催)
		お茶の間東幸会	古川地域コミュニティセンター 第3金曜日 10:00~12:00
		憩いの場	①白根中央郵便局 ②清楽苑 ①第1木曜日/②第3木曜日 9:30~11:30
		十五間なかよし会	十五間集会所 第1日曜日 11:00~15:00
		日の出町お茶のみ会	日の出町集会所 第4水曜日(多世代交流も開催) 13:30~16:00
		からだ楽らく会	清楽苑 第1・3金曜日 13:30~15:30
		みんなの茶の間	白根健康福祉センター 第1~4土曜日 9:30~11:30
元気会	白根地域生活センター 第1・3月曜日 9:30~11:30		

地域包括ケアシステムの構築について

ご存知ですか？

地域包括ケアシステムと 支え合いのしくみづくり会議

地域包括ケアが必要になる背景

- 少子高齢化
- 要介護（要支援）認定者の増加
- 単独、高齢者夫婦世帯の増加
- 認知症高齢者の増加
- 介護の担い手不足

団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、医療や介護の需要のさらなる増加が見込まれています。

新潟市では、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・住まい・介護予防・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を進めています。

下記の図「地域包括ケアシステムの姿」の「生活支援・介護予防」では、地域における支え合いや助け合いの取組みが求められており、支えあいを広めるためのしくみや仕組みをしていくために協議体が組織されています。南区社会福祉協議会は、新潟市より「南区第1層支え合いのしくみづくり会議」（協議体）の事務局並びに支え合いのしくみづくり推進員を受託しています。

南区では、第2層協議体の事務局と支え合いのしくみづくり推進員は、ワークショップを重ねながら、選出されます。

支え合いのしくみづくり会議（協議体）と生活支援コーディネーター（SC）の配置

南区全域	第1層協議体	新潟市では、生活支援コーディネーターを「支え合いのしくみづくり推進員」と称しています。
日常生活圏域（中学校区）	第2層協議体	

南区第1層支え合いのしくみづくり会議構成団体

「支え合いのしくみづくり会議」で地域での課題を把握し、その解決に向けて、方策の検討などを進めてまいります。

南区自治協議会	南区民生委員児童委員会	南区老人クラブ連合会
新潟市シルバー人材センター 南事務所	新潟みらい農業協同組合	白根青年会議所
NPO法人ワーカーズコープ 北陸信越事業本部	南区ごみ委託事業者 (株)白根清掃社	白根郵便局
南区連合保健会	食生活改善推進委員協議会	地域包括支援センター しろね南
みなふくねっと	南区居宅連絡会	認知症疾患医療センター 白根緑ヶ丘病院
南区アクションプラン 推進委員会	白根ロータリークラブ	白根ライオンズクラブ
南区役所健康福祉課	南区社会福祉協議会	

～つながりやふれあいのある地域づくりのために～

「住み慣れた地域で安心して暮らしたい」そんな願いのために住民同士、お互いに助け合っていきませんか？これからは「自助」「互助」の果たす役割が一層大事になってきます。

地域での支え合いや助け合いについて、自分のこととして考え、できることに取り組みませんか？

- 認知症の方の見守り
- ゴミ出し、買い物などの生活支援
- 除雪の支援
- 見守り、声かけ
- 誰もが気軽に集える居場所づくり

地域包括ケアシステムの姿



地区名	サロン名	会場	開催日時
白根地区	子育てサロン	NP mothers	白根学習館
白井地区	ふれあい いきいきサロン	白井お茶の間会	白井地域生活センター
		中小見お茶の間の会	中小見集落センター
		白井地域お楽しみ会	白井地域生活センター
小林地区	ふれあい いきいきサロン	子育てサロン	下八枚姉さん会
		さつき健親会	勤労者福祉センター
		木山ふれあい茶の間	小林地域生活センター
		戸頭ふれあい「茶の間」	戸頭集会所
		田中ふれあい茶の間	田中集会所
		蔵主ふれあい茶の間	蔵主ふれあい集落センター
		鍋湯ふれあい茶の間(JA)	鍋湯集会所
月潟地区	ふれあい いきいきサロン	西萱場お茶の間会	西萱場集落開発センター
		月潟茶話会	月潟集落開発センター
		東長嶋お茶の間会	東長嶋集落開発センター
		曲通ふれあい広場	曲通多目的共同利用施設
		大別当のお茶の間	大別当集落開発センター
庄瀬地区	ふれあいいきいきサロン	庄瀬ふれあい茶の間(JA)	庄瀬地域生活センター
茨曽根地区	ふれあい いきいきサロン	道湯いきいき広場	道湯ふれあいセンター
		東萱場ふれあい元気会	東萱場ふれあいセンター
		清水ふれあい会	清水ふれあいセンター
新飯田地区	ふれあい いきいきサロン	子育てサロン	ももっこ
		子育てサロン	白根学習館
		子育てサロン	シルバ乙女
新飯田地区	子育てサロン	新飯田ふれあい茶の間(JA)	新飯田地域生活センター
		新飯田ママクラブ	新飯田地域生活センター

現在、南区社会福祉協議会に登録されている、ふれあいいきいきサロン・子育てサロンを掲載させていただいております。掲載しているふれあいいきいきサロン・子育てサロンについてのお問い合わせは南区社会福祉協議会へお願いします。



地域の茶の間は、赤ちゃん・若者・お年寄りまでどなたでも気楽に過ごせ、交流できる場所です。人と人とのつながり・人と社会とがつながることによって優しさが広がることが目的です。「誰かに会いたい」、「行くところが欲しい」、「一緒にご飯を食べたい」など、どうぞ気軽にお越しください。

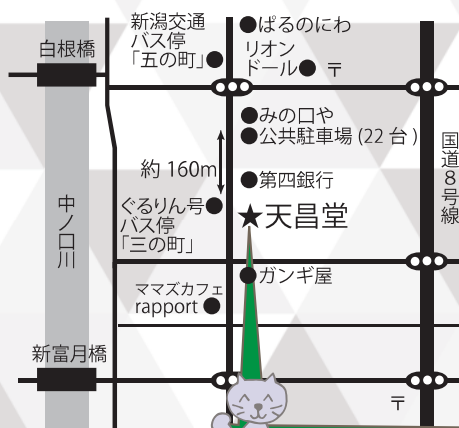
ボランティアさん募集中!

- ①運営ボランティア
- ②調理ボランティア
- ※月に1回でもOK!
- 男性も大歓迎!



運営団体： **みなみらいプロジェクト**

連絡先：本間 090-7436-4034

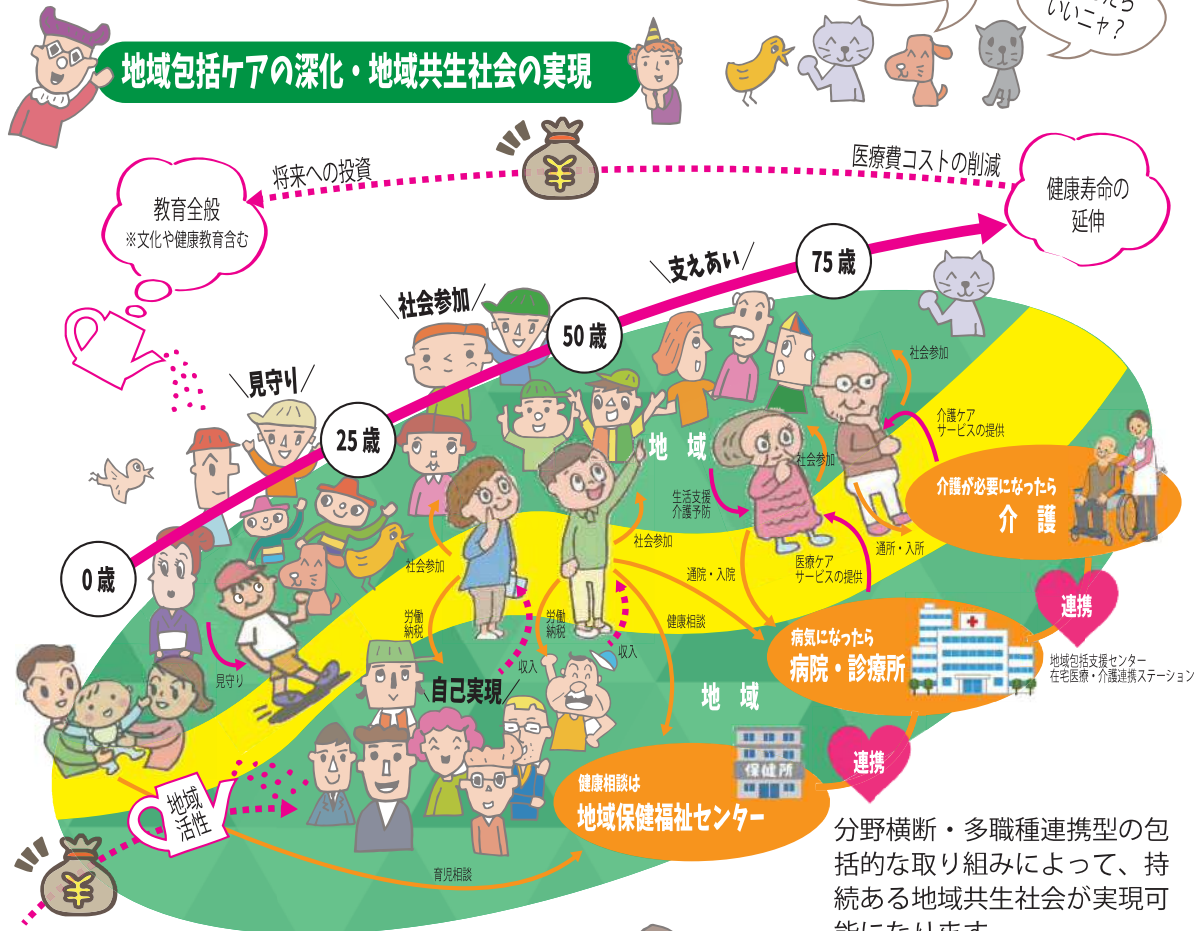


天昌堂
新潟市南区白根 3027
(無料 P3 台)

地域包括ケア推進モデルハウスは、団塊世代が75歳を迎える2025年に医療費増大による負担増を少しでも緩和するため、誰もが住み慣れた地域で**安心して暮らせるまち**を目指し、支えあいの仕組み・健康寿命延伸モデルの拠点として、各区に1つ設置されるものです。

誰もが自分らしく生きて
最期を迎えられる
まちにしたいワン

どうしたら
いいコヤ?



天昌堂サロンでは何をやるの？

- ①常設型地域の茶の間（週2回以上開催）を拠点に誰もが楽しめる居場所づくり
- ②多様な関係機関・団体と協働するモデルとして、視察受け入れなども行う日常的な研修の場
- ③生活支援コーディネーター（支えあいのしくみづくり推進員）、保健師等の定期的な来所の場
- ④介護予防・生活習慣病予防・健康寿命延伸など、楽しく取り組めるプログラム開発
- ⑤その他、医療介護情報の提供など

地域の皆様：オープン前にぜひご内覧いただきたく、ご案内申し上げます。

◎地域説明会 12月20日(火)19時～20時(場所：天昌堂)

※19時に開始しますので、お時間までにお越しください。

◎内覧会 12月22日(木)10時～14時(場所：天昌堂)

※時間内にご自由にお越しください。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

住民が支え合う拠点に



オープンした天昌堂サロンで会話を楽しむ地域住民ら＝12日、新潟市南区白根

南区ケアモデルハウス開所

地域住民らが互いに支え合う地域包括ケア推進モデルハウス「南区地域の茶の間 天昌堂サロン」が12日、新潟市南区白根の交流拠点

「天昌堂」内にオープンした。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療や介護などが一体的に提供され

る「地域包括ケアシステム」を構築する取り組みの一端で、市が各区に設置を進めている。東区、秋葉区、西蒲区に次いで市内4カ所目。住民が集い、生活支援や介護予防などの活動に取り組む。

交流拠点を運営する地元団体「みなみらいプロジェクト」が、施設内の一部を改装した。毎週火、木曜の午前10時～午後3時に開き、参加費300円（小学生以下無料）で、コーヒーやお茶、お菓子も付く。このほか、手作りの昼食を300円で提供する。

オープニングセレモニーには、藤田昭市長や区内のコミュニティ協議会会長ら約50人が出席。訪れた住民らが早速、おしゃべりに花を咲かせた。南区七軒の松田和江さん(71)は「ここに来れば仲間もできそうだし、週1回くらいは来たい」と笑顔を見せた。

みなみらいプロジェクトの本間智美代表は「さまざまな人が訪れて交流する場にした」と意気込んだ。問い合わせは本間代表、090(74336)4034。